

令和4年度 第3回 豊田市足助地域会議 議事録

| | | | |
|------|--|--------|--------|
| 開催日時 | 令和4年6月20日(月) | 開会 | 閉会 |
| | | 18時30分 | 19時40分 |
| 会場 | 足助支所 2階 第2、3会議室 | | |
| 出席者 | 委員15名出席、市議 鈴木 章 | | |
| | 足助支所 支所長 青木、担当長 深田、主査 花園、主査 川口 | | |
| 欠席者 | 2名 | | |
| 傍聴者 | 0名 | | |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の誓い唱和(省略) ・会長あいさつ ・鈴木市議あいさつ 2 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・わくわく事業(5月分)審査結果について ・2次募集について 3 情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・分科会について 4 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア企画課から足助地域会議への諮問について 5 連絡事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) あすけ支所だより 足助地域会議だより～あすけ羅針盤～ (2) 配布物 (3) 次回の会議等について確認 | | |

■ 議事(要約)

2 令和4年度わくわく事業(5月分)審査結果について

以下の12団体が審査の結果、補助事業団体として採択された。

なお、2次募集については他支所の状況を踏まえて、現在地域振興部で検討中

① 団体名：しんもり花の郷

事業名：扶桑館の前山整備事業

補助決定額：1,000,000円

② 団体名：新盛子育て支援プロジェクト

事業名：田舎の親子の子育て支援事業

補助決定額：576,000円

③ 団体名：カラフルミュージック

事業名：親子であそぼう！ミュージックケア

補助決定額：55,000円

④ 団体名：農村舞台寶榮座協議会

事業名：農村舞台寶榮座を生かした文化による地域づくり事業

補助決定額：844,000円

- ⑤団体名：正三の里を育む会
事業名：鈴木正三史跡の整備・充実を通じた地域づくり
補助決定額：725,000 円
- ⑥団体名：御内森づくり会議
事業名：地域資源を活かし子どもの可能性を広げる事業
補助決定額：947,000 円
- ⑦団体名：みずきの里づくり推進委員会もみじ谷部会
事業名：神越溪谷もみじ谷プロジェクト
補助決定額：755,000 円
- ⑧団体名：Burupon
事業名：Burupon Farm（ブルポン農園）整備事業
補助決定額：494,000 円
- ⑨団体名：萩野 NPO 結の家
事業名：萩野・持続可能な地域づくり事業
補助決定額：156,000 円
- ⑩団体名：あすけ聞き書き隊
事業名：足助の聞き書き朗読集作成事業
補助決定額：654,000 円
- ⑪団体名：連谷ちびっ子広場を維持継承する若衆会
事業名：子育て世代で始める！身近な広場を維持・継承する事業
補助決定額：79,000 円
- ⑫団体名：怒田沢青葉の会
事業名：故里景観作り事業
補助決定額：31,000 円

3 情報提供

◆各分科会について

分科会の活動状況を各分科会代表より説明

【まるふく会議（高齢者等課題検討分科会）】

パレットの移動販売が山村地域貢献事業応援補助金（令和4年度新規補助金事業、商業観光課）を受けることにより継続できることになった。

- ・包括支援センターはお寺を会場にした認知症サポーター養成講座や足助中学校での福祉教育の実施状況。
- ・足助病院はコロナウイルスワクチン4回目接種や訪問診察（内科と整形外科）を実施しているので希望者への情報提供。
- ・MYパワーは足助などの山間地域の野菜を利用したグラノーラ作りをグラニー（障がい者就労継続支援B型施設、グラノーラ量り売りショップ）と行う事業を展開。
など会議において情報共有した。

【防災課題検討分科会】

防災について各地域の現状や課題について意見交換した。

- ・集落によっては避難所までの距離の違いや、ほとんどが自宅待機を選択すると思われることから足助地区一律のマニュアル作成は合わない。
- ・災害時の初動が重要だが昼と夜では災害時に対応する住民が違ふ、コロナ禍で地域の集まりが少なくなったが、防災訓練や炊き出しなど定期的に継続していく必要がある。次年度予算化し課題解決事業で、この地域の防災課題を解決していく。

【新規課題事業検討分科会】

「子どもの学習塾、スポーツクラブ等送迎に関するアンケート」調査結果を確認した。アンケート結果から見るに、送迎バスがあれば解決するわけでもなく、講師の質や評判、最終的には立地条件の問題ではないことが読み取れた。この課題は個別事情により様々であり、地域課題としての検討はここまでとする。

新規課題について委員で出し合った。

- ・出生率の少なさ、空き家の活用、子どもと高齢者の交流場所の必要性、重伝建の改築課題、地域の集いの場がほしい等の意見がある。
- ・足助町内の活性化は、結果的に足助地区全体の活性化につながるという話になり、陣屋跡地の利活用を中心とした足助地区内の活性化事業について、検討を進めていきたい。地域会議委員だけでなく、関係者や中・高校生などから意見や要望を整理して進めていきたい。

4 協議事項

地域包括ケア企画課から足助地域会議への諮問について

【案件名】「第2次豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画」（令和2年度～令和7年度）

【概要】・第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画では「地域の支え合いの仕組みづくり」「地域福祉の担い手づくり」を基本目標にしている。

- ・計画の中間見直しにおいて、当該基本目標に資する地域発の取組提案がないか諮問したい。

【意見聴取したい内容】

- ・地域発の「地域の支え合いを推進する取組」「地域福祉の担い手を創出する取組」について提案いただきたい。
- ・支援対象者さえ把握できれば様々な機関との連携、制度を利用し支援することができるが、最初に「発見」することが非常に難しい。地域で対象者を発見できる手法があればご提案いただきたい。

事務局としては福祉の課題を話し合っている「まるふく会議」で答申案を作成し、地域会議（本会議）にかけ答申を行いたい。

〈主な意見〉

- ・まるふく会議は福祉団体と課題共有・連携しながら会議を行っているので良いと思う。
- ・答申はいつまでに提出するのか？「第2次豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の概要版でいいので欲しい。
⇒9月までに答申が欲しいとのこと。概要版は次回地域会議で配布する。
- ・「意見聴取したい内容」で支援対象者さえ把握できれば様々な機関との連携、制度を利用し支援することができるが、最初に「発見」することが非常に難しい。とあるが「発見することが難しい」とはどういうことか？
⇒例えばヤングケアラーだとか表立って解らない現状が多い。福祉制度の狭間なども関係し、本当に支援が必要な人たちをつかめていない現実があるということ。
- ・支援対象者の範囲が広すぎるのではないかと地域会議だけでなく、もっと様々な業種の人（他業種連携）を取り入れなければならないのではないかと。
- ・MYパワーも取り組もうとしているのが、福祉分野の縦割り（相談・支援）から漏れている人を横つなぎ支援（重層支援）が必要と考え、地域が持っている情報をどのように集め使うかを検討している。
- ・9月までに答申は難しいのではないかと？
⇒地域包括ケア企画課に相談してみる
- ・他の分科会（防災、新規課題）でも、この福祉の視点を入れていくことは必要なことだと思う。
- ・ぜひ、まるふく会議で話した内容を地域会議（本会議）でも共有し話し合い、答申をしていきたい。

5 連絡事項

(1) あすけ支所だより 足助地域会議だより～あすけ羅針盤～

9・10月号担当 三橋 豊委員、鈴木惟氏委員、鳥居智子委員

次回の会議等について確認

- ・第2回まるふく会議（高齢者課題検討分科会）
令和4年6月27日（月） 午前10時から 足助支所
- ・第2回新規課題事業検討分科会
令和4年6月27日（月） 午後6時30分から 足助支所
- ・第2回防災課題検討分科会
令和4年6月29日（水） 午後6時30分から 足助支所
- ・第4回足助地域会議
令和4年7月25日（月） 午後6時30分から 足助支所